




今月の読み物  
 ◇2-3 面: 大阪AALA第 60 回定期総会報告  
 ◇4-5-6-7 面: 総会特別報告「ウクライナへのロシア侵攻問題について」◇8 面: 世界の出来事メモ、AALAカフェ第 28 回案内、文化欄など

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F  
 2022年7月1日 No. 593



2022.5.28 大阪AALA第 60 回定期総会 演台は植田保二代表委員  
 写真：編集部 記事：2-3ページ

軍事対軍事ではなく  
 紛争は話し合いで解決を！  
 平和のための ASEAN の努力に学ぼう



**戦争するな！ どの国も**

発行 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ (日本 AALA) 連帯委員会  
 〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館 6 階  
 TEL 03-6453-7297 FAX 03-6453-7298  
<https://www.japan-aala.org> Email: info@japan-aala.org

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会は、1955年に結成（名称に1958年アフリカを、1984年ラテンアメリカを加える）し、公正で民主的、平和な国際秩序をめざす非同盟運動（NAM）の発展、非核・非同盟の日本の実現のために活動しています。非同盟諸国首脳会議にオブザーバー参加する日本唯一の非政府組織です。

2015年から「戦争するな！ どの国も」の国際署名に取り組んでいます。東アジアを不戦・平和・協力・繁栄の地域・共同体に発展させることを願い、東アジア首脳会議（EAS）参加国首脳に要請してきました。これまでの累計で約9万筆を提出しました。

「敵基地攻撃能力」（自民党は「反撃能力」と言い換えました）が、指揮統制機能まで先制攻撃するもので全面戦争につながります。保持、核軍拡など、軍事に対して軍事で向き合おうとする勢力が発言を強めているなか、戦争では解決できない、戦争は絶対してはならない、紛争はあくまで平和的な外交で解決する、という現実的で未来をひらく署名です。

**今こそ国際署名を広げましょう**

東アジア首脳会議（EAS）宛て

**東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に**

要請事項 ①対立ではなく、協力を優先させる  
 ②戦争しないルールを作成する  
 ③「東アジア友好協力条約」の締結をめざす

「戦争する日本か」「平和を推進する日本」かが大きく問われる参議院選挙の真最中。ロシアのウクライナ侵略戦争が開始されてからちょうど4か月。日本を軍事費2%に、敵中枢を破壊する反撃能力の保持、アメリカの核共有、武器輸出三原則の見直しと声高に主張する元首相をはじめその補完政党に任せると、日本はロシアのように他国を侵略する軍事大国になって、東アジアがより一層戦争危険地域になってしまいます。こうした動きが強まっている今、日本AALAが取り組んできた「戦争するな！ どの国も」国際署名が大きく輝きを増しています。今回、日本AALAがすばらしいパンフレット（左がその一ページ）を作成しました。日本の進路が大きく問われる今こそ、「東アジアに平和の共同体」と署名とともに訴えましょう！

**参議院選挙**  
 平和と暮らしの願いを訴える  
**東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に**  
**第8次国際署名は平和の大きな力**



5月28日、大阪AALA第60回定期総会開く  
第8次国際署名の積極的取り組みなど決める

大阪AALAは、第60回定期総会を5月28日(土)午後1時30分から大阪市北区・国労大阪会館で開催しました。参加者は21人、委任状を含め総会の成立を確認しました。

総会は、安井倫子常任理事の司会のもと、総会議長に高木裕司事務局次長を選出しました。

議事冒頭、この1年間でお亡くなりになった鱈坂真さんなどのみなさんへの黙祷を行いました。

長谷川道弘理事長の主催者挨拶の後、「ウクライナへのロシア侵攻問題について

「経過報告と22年度の活動の基調と活動計画」を小松靖昌事務局次長が、「情勢の特微報告」を長谷川道弘理事長が、「会計報告・予算案」を粕谷武志会計が、決算監査報告を中井常生監事が行いました。



司会・安井倫子



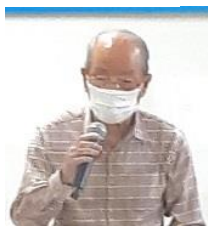
高木裕司議長



粕谷武志会計



小松靖昌事務局次長



姫野浄副理事長



中井常生監事

と題して植田保二代表委員から特別報告(講演)が行われました。講演要旨は4〜7ページに掲載。

12団体から寄せられたメッセージを議長が紹介し、つづいて、第1号議案の提案が行われました。

役員関係では、代表委員の鱈坂真さんが逝去、代表委員の伊賀興一さんが諸任務の都合で退任されました。長年のご奮闘に感謝します。また新しく常任理事に堀内保孝さんが選出されました。閉会の挨拶は姫野浄副理事長が行いました。

大阪AALA 2022年度 新役員

※各役職ごと50音順

- 代表委員 安達 克郎 植田 保二  
小林 保夫 吉瀬 孝子
- 理事長 長谷川道弘
- 副理事長 上村 得世 浜辺友三郎  
姫野 浄
- 事務局次長 小松 靖昌
- 事務局次長 高木 裕司 西野 敏恵
- 会計 粕谷 武志
- 常任理事 江野久美子 尾川 理江  
下川今朝美 堀内 保孝(新)  
森川 泰明 安井 倫子  
吉本 敦
- 理事 井上 賢二 小林 優  
沢田 好子 吉田 信夫
- 監事 小笠原由美子 中井 常生

日本共産党大阪府委員会:福井満知子  
日本民主青年同盟大阪府委員会  
:園部真拓

※総会直後の第1回理事会で、理事長~常任理事の常任理事会メンバーが確認されました。※の方が新任です。

いただいたメッセージ

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会、全大阪労働組合総連合、大阪医療労働組合連合会、大阪の親大会連絡会、大阪のうたごえ協議会、大阪府民主医療機関連合会、大阪府立高等学校教職員組合、大阪平和委員会、日

本コリア協会・大阪、日本中国友好協会大阪府連合会、日本共産党衆議院議員宮本たけし・前衆議院議員清水ただし・参議院議員山下よしき・参議院議員大門みきし・前参議院議員たつみコータロ、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 \*順不同

## 総会発言(抜粋)から

【情勢を越えた平和を訴える各種取り組みとともに、魅力ある文化活動への積極的な取り組み】

**中津川真人** 冒頭に皆で黙祷を捧げましたが、大阪AALA活動にご協力いただき、この間にご逝去された方々に、心より哀悼の意を捧げます。とりわけ、日本AALAにおいても活躍いただいた、大阪AALA前理事長の澤田有先生、並びに大阪AALAの代表理事の一人でいらした鱒坂真先生のご逝去は、残念でなりません。この世の必然の理の中で世代交代を強いられる私達は、先達の遺志をしっかり受け止めて、その意を継いでいく役割にあります。

を広げるAALAの行動力・組織力は非常に大切です。

そして、AALAの魅力ある活動内容をつくっていく、例えば、誰もが共感を持つ文化・芸術を提供することは重要です。共感する文化の活動は平和の力そのものです。人々を癒し励ます平和の行動そのものです。その意味でも毎月の大坂AALAの機関紙は素晴らしいものがあります。情勢を越えた平和を訴える各種取り組みと共に、音楽祭など魅力ある文化活動への積極的な取り組みを、これからも期待したいと思っています。

【戦争するな！どの国も】  
第8次国際署名の3000筆目標を達成してカンボジアに行きましょう！

**上村 得世** 日本AALAのメッセージにもあった第8次国際署名を成功させましょうという署名の取り組みについて提案したい。報告によると320筆しか集まらなかったということですが、この2年間コロナの影響もあって常任理事会も理事会もなかなか開けず、役員もほとんどでこりなかつた中で、しっかりと取り組みませんでした。

しかし、事務局長の提案でも、今年はしっかりと取り組みたいということでしたし、会議の中でも議論をし、そのことを欠席の役員にもしっかりと伝える努力が必要だと思っています。

今日の総会には間に合わなかつたのですが、この署名を成功させるために、日本AALAが、「戦争するな！どの国も」という詳しい説明・学習資料冊子が会員の倍ぐらいの枚数で発行されることになっていきます。これにはミャンマーのこともでてくるし、いろんなことが詳しく書かれています。まずAALAの役員がこれで学習し、会員のみなさんにも訴えて、今年のASEAN議長国のカンボジアにも行くということなので、どのくらい目標にしますか？ 3,000という声が多かったので、しっかりと集めましょう。

つて、そこにも持つていく。集まりのあるところには、必ずAALA入会の書類と署名を持つていきます。みんな3000筆を達成してカンボジアに行く方に託しましょう。

【AALAから大阪母親大会連絡会に行つてがんばっている】

**西野 敏恵** 平和・国際友好団体との連携・交流という項で、他団体と力を合わせて活動を広げていくということが発言します。私はこのAALAから大阪母親大会連絡会の常任委員にできています。大阪のいろいろな問題について母親大会の枠内で訴えたりしている。活動はなかなかユニークです。住民投票の時はキヤラバンカーで大阪市内を走り回ったりして、私も予定表の空いているところにいっぱい参加しました。

が母親大会連絡会かといことですが、分科会と全体会というのがありますが、分科会の一つを受け持ったところが、世界の女性たちとも手をつないでという見地からも、毎週月曜日に母親連絡会の会議があり大変だが、がんばっています。

【第8次国際署名を各種団体に要請すれば大きく広がる】

**中津川真人** 堺の泉北地区(南区)では10の地域で9条の会があり、また月1回集まって連絡会をしています。第8次国際署名も協力できると思います。また堺市内の9条の会が集まって堺憲法共同センターがあり、そこを集約の場として、各9条の会が活動しています。大阪全体では大阪憲法会議があり、AALAもそのメンバーではないかと思っていますが、単に出席するだけでなく、国際署名のお声力ができると思います。

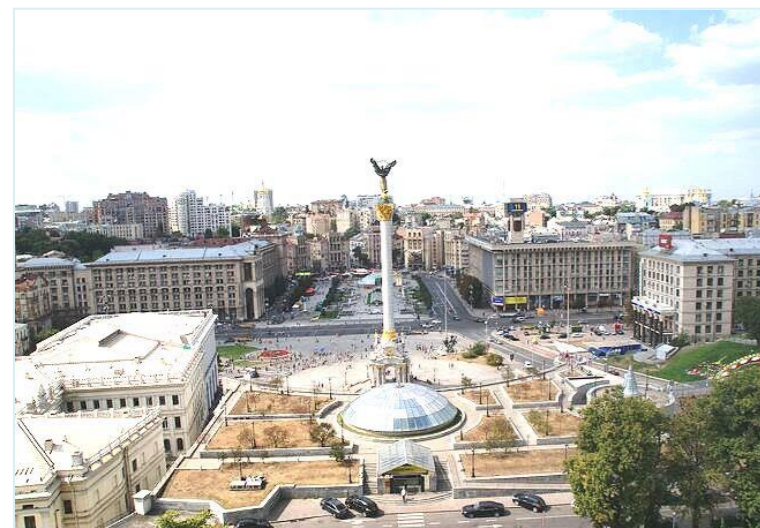




2022.2.24 のロシアの軍事侵攻直前の「ロシア承認自治州(桃色)」

### 若干のロシア史

- 880年 キエフ大公国
- 1237年 モンゴル帝国に併合される
- 1453年 オスマン・トルコ帝国に併合
- 1462年 モスクワ大公国 東西交流の要塞として発展拡大
- 1721年 ピョートル大帝 ロシア帝国建立、サンクトペテルブルク
- 1762年 ピョートル3世
- 1825年 ニコライ1世
- 19世紀末 アレクサンドル3世  
\*ロシア帝国は西のフィンランドから北アメリカのアラスカまでを支配
- 1905年 日露戦争
- 1917年 ロシア革命(2月、10月)
- 1920年 ウクライナ飢饉起こる(~21年)
- 1921年 レーニンのネップ新経済政策始まる
- 1922年 ソビエト連邦成立
- 1941年 独ソ戦争始まる、ウクライナ、ドイツに占領
- 1944年 ソ連軍、全ウクライナ占領
- 1954年 クリミアがウクライナに移管
- 1979年 ソ連アフガニスタンを侵略
- 1989年 ソ連崩壊



キーウの独立広場

**はじめに**  
ロシアのウクライナ侵略で、世界の平和秩序危機と人道的危機が起こっている。こんなことが21世紀に起こることかという感情を持った。AALA中央でも研究会が開催され議論されている。

政府の動きはアメリカ追随というか武器までは供与しないが、ウクライナに対して資金援助をしている。政党での声明や維新の会の政府要請書を読んだが、核共有、軍事費2%への引き上げ、敵基地攻撃論、自民党の防衛の部会でも、今までの敵基地攻撃能力だけでなく敵基地の作戦本部に打撃を与えるということ、攻撃論を展開するまでになつており、ロシアのウクライナ侵攻を利用しての軍備の拡大が進められようとしている。そして何よりも憲法9条を変えていくという大きなネライがある。

共産党志位委員長、東大どっちもどっち論や、東大名誉教授の和田春樹さん



植田保二さん

5月28日(土)、大阪AALA第60回定期総会で、「ウクライナへのロシア侵攻問題について」と題して、植田保二代表委員の特別報告・講演が行われました。

編集部では、講演内容と講師資料を参考にしながら、講演概要版を作成しました。文中の添付資料は全て編集部が挿入しました。文責は全て編集部にあります。

大阪AALA第60回定期総会・特別報告(講演)  
**ウクライナへのロシア侵攻問題について**  
植田保二 (大阪AALA代表委員)

ちが14名で、日本と中国とインドで停戦仲介をと声明を発表したが、それをめぐっても学者の中で異論が出てくる。そんな中で、私なりにまとめたので、ともに考えていきたい。

**1 プーチン・ロシア大統領の戦争目的は何か**

戦争目的だが、彼ははじめ、ウクライナの東側のルガンスク、ドネツク州のロシア系住民がウクライナから迫害を受けており、それを保護するということだった。2月24日の戦争開始までの間に、それぞれの州でロシア系の独立国ができた。それを承認するという

ことで、ロシアと2つの州の独立国が、集団的安全保障を利用して、2月24日からウクライナへの攻撃を行った。これが一つの形だが、最初は東部だけでなく、首都のキーウ(キエフ)を攻略するのが一番早いと、キーフの攻撃を開始した。しかしウクライナの方もがんばってそれを阻止してきた。今、またもとに戻って東部の方を制圧しているという状況である。

**その背景について**

**① プーチンが2020年7月に論文発表**

「ロシア人、ウクライナ人、ベラルーシ人はいずれもヨーロッパ最大級であった古代ルーシの末裔だ」「ロシア帝国の栄光を取り戻す」

もう一つあげているのは、ソ連邦づくりの際に、スターリンとレーニンの論争があった。レーニンは「連邦国家制度と民族自決権擁護」といったが、スターリンは「ロシア国家の統一国家」だ。最初はレーニンの

意見が通ってウクライナも独立したが、レーニンが亡くなるとスターリンが元に戻した。プーチンは、スターリンが正しかたかと主張している。ここに大きな原因がある。

**② ロシア憲法の改正(2020年)**

大統領の任期を2期(1期は6年)までとする案を修正、プーチン大統領に限り最大2036年まで大統領に任へる道へ、大ロシア主義、国家主義的思想の条文を入れ、国民投票で決め、プーチンの国民的支持をとりつけてきた。

**③ 2014年にウクライナのクリミア半島を占領**

ウクライナからの小麦などは黒海から運ぶなど、流通の大きな要所。そこを制圧するということは、経済的にも軍事的にもクリミア半島は大事な位置を占めているから。昔からクリミア半島について、オスマントルコだとかと、取り合いあった。プーチンは、19世紀末、クリミア半島を取り戻したロシア皇帝アレクサンデル3世を尊敬しており、クリミア半島占領後、銅像をたてている。

**2 若干のロシア史**

880年頃にキエフ大公国ができたが、あの辺の中心はキエフだった。



アレクサンドル3世像とプーチン

1922年には、レーニンとスターリンの論争の中でソビエト連邦が成立した。連邦なのでウクライナは独立国であり、連邦から離れるという事は可能。従って、加盟も脱退もその国が決めたらいという、ゆるやかな連邦制度だった。ところがスターリンになつてからは、各民族の自立を認めない形にした。そして1941年独ソ戦争が始まって、ウクライナはドイツに占領された。1944年にはソ連軍が全ウクライナ占領した。1954年にクリミアがウクライナに移管された。クリミア半島が政争の具になつてきた。

そして1979年ソ連のアフガニスタン侵略があり、1989年にはソ連が崩壊した。

**3 安倍元首相とプーチン**

プーチンが2019年に北方領土交渉で日本に来たことがあるが、その時に山口県で瀬祭という日本酒を

飲みながら安倍首相と会談した。その時安倍は、「ウラジミール、君と僕は同じ未来を見ている」と発言したが、これはどういう意味かだが、おそらく、プーチンは、もう一度かつてのようなヨーロッパ全体を支配していたロシア帝国のような国に作り上げたいという話をし、一方の安倍は、大東亜共栄圏づくりの帝国日本にしたいという、そういうノスタルジアでは一致、同じ未来を見ているということだと思ふ。

今回の戦争が始まった時、満州事変とそっくりだと思つた。あの満州事変から中国侵略をつぎつぎと進めてきた。鉄道を自ら爆破しながら、これは日本に対して攻撃を加えてきたということ、侵略を拡大し、満州国を作っていく。そしてさらに中国を侵略していくやり方が、旧日本軍によって行われた。

**4 ロシアとウクライナの関係**

ロシア(大ロシア)、ウクライナ(小ロシア)として欺瞞的な友好と民族抑圧が行われてきた。

よくコサック(カサーク)という言葉が出るが、逃亡農民からなる軍事共同体だが、ウクライナは農業地域で、農民が落ちぶれて、自分たちで武装集団を作つた。

もう一つは、キエフをウクライナ語ではキーフというが、何度もロシアからウ

\*年表を参照しつつ。  
19世紀末にアレクサンデル3世ができるが、ロシア帝国は西のフィンランドから北アメリカのアラスカまでを支配、今アラスカがアメリカに売ったから。  
1905年に日露戦争、1917年にはロシア革命(2月、10月)が起こった。  
この頃、「1920年ウクライナ飢饉起こる(21年)」とあるが、社会主義制度になってホルホーズ(集団農場)などを急激に行つた。農業が中心のウクライナはこの制度を導入したことで仕事そのものに意欲をなくしてしまうというような状況で飢饉が起こった。すぐに1921年、レーニンが改善するためにもネップ新経済政策始めた。ある程度資本主義的な私有制のようなものを入れながら社会主義をすすめていくと提案した。



安倍元首相とプーチン

※6ページ上段につづく



※5ページ下段からのつづき  
 クライナ語の禁止をされ、作家や文化人も含めて民族主義者が排除された。だからやむにやまれず何度も民族独立の国家づくりが起つては消えた経過がある。やつとウクライナが独立したのがソ連崩壊の1991年。あの青と黄色の国旗

**ウクライナ国歌  
 「ウクライナは滅びず」**

ロシア革命が起こった1917年に独立を宣言したウクライナの民族主義者によって国歌に採用され、ソビエト連邦に併合されるまで使用された。ソ連から独立後、1992年に議会によりウクライナの国歌として復活し、2003年3月6日には最高議会でウクライナ国歌法案が成立。歌詞を一部修正の上、正式に国歌に採用された。以下は2003年改定後の歌詞(歌詞日本語訳はウイキペディアから)。

ウクライナの栄光も自由もいまだ滅びず、  
 若き兄弟たちよ、我らに運命はいまだ微笑むだろう。  
 我らが敵は日の前の露のごとく亡びるだろう。  
 兄弟たちよ、我らは我らの地を治めよう。

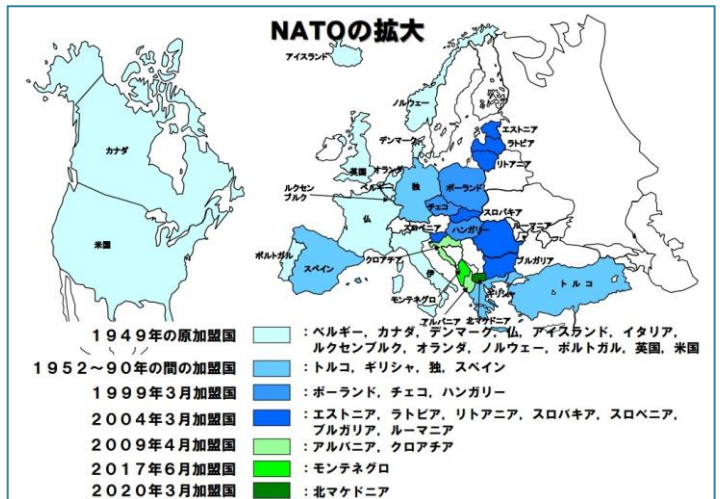
我らは自由のために魂と身体を捧げ、  
 兄弟たちよ、我らがコサツクの氏族であることを示そう。

はこの時にできた。自らの国歌もつくり、独立をおう歌しており、中西進さんという万葉集の権威の学者が、比較言語学もやっているが、ウクライナに行ったときに、そのことを書かれています。ゴーゴリ、チャイコフスキー、ドストエフスキーはウクライナ出身。ポルシチもロシア料理と言われているが本来はウクライナ料理ということだ。

いろいろな本を読んでいて、かつての沖縄と日本の関係に似ていると感じた。一時は沖縄の方言を使うな、使うと方言札をつけさせるとかいう時代があった。

**5 NATO問題**

NATOはワルシャワ条約機構とともに戦後すぐできたが、もともと、国際連合の国連憲章では、個別的自衛権は認められた。カントも「永遠平和のために」の中で個別的自衛権は認めている。しかし、アメリカなどが主張し、個別的自衛権だけが主権し、個別的自衛権の行使を挿入した。特に、ヨーロッパでの関係は、ソ連が大きくなくなって軍事的に攻めてくるのではないかという理屈でNATOを作っていた。



バイテン政権の「専制主義対民主主義」の構図で「力には力で」は、今年22年1月7日の日米の軍事外交閣僚会議(2プラス2)や1月21日の日米首脳会談でも明らかに進んでいる。4月22日、自民党安全保障調査部会。日本維新の会も「核共有、敵基地攻撃能力、防衛費のGNP比2%」を政府に提言している。

この間の5月25日のクアッドや日米首脳会談でも岸田首相が防衛費を上げると約束。国会の答弁で見ると防衛費をどこから持ってくるか「答えず」、おそらく社会保障とかが減らされるということでは言えるのではないかと思う。

**7 戦後の紛争の平和的解決めざす運動の変遷**

AALAとかの運動といふのは、戦後、いろんな意味で民族解放運動が起きたり、社会主義国ができた

ということがきっかけにはなかったと思うが、広がっていた。

ただ20世紀の後半に、私もあこがれていたがユーゴスラビアは、いろいろな民族が集まっていてユーゴスラビアをつくり中立交ったが、その国の中でまた紛争が起こった。そういう問題について、姜尚中さんは、民族の自決だけでは解決できないと指摘されている。

アフリカでも、2つの民族が線をひかれて国境が決められて、強い民族と弱い民族ができて、強い民族がのし上がってくる。そうすると強い民族が逆襲してきるといふような憎しみあい民族間でおこっている、とこういうことを指して姜尚中さんは言っている。

新しくはASEAN条約の関係で、いろいろな宗教宗派があったり、マレーシアに行くともマレー人と華僑とインド人の3つの民族がある。うまく融合しているが、マレー人を優遇するよな大学を作ったりしている、そうすると中国人やインド人は怒ったりする。各国家のなかでもいろいろ民族問題をかかえている。

※7ページ上段につづく

※6ページ下段からのつづき  
 それでもASEAN同士  
 いろいろな問題をどう解  
 決していくかで努力してい  
 る。日本のような小さな島  
 国では考えられないよう  
 な、新しい、平和をどうつ  
 くっていくかということが  
 進められている。

核兵器禁止条約について  
 は、オーストリア、ニュー  
 ジーランドなどが、新しい  
 リーダーとして生まれてい  
 っている。

国連で141か国とか1  
 40か国以上という多数  
 で、ロシアに対する批判の  
 決議が採択された。いまま  
 で6回ほど採択されている  
 が、今回これだけの国の数  
 ぞというのは初めてのこ  
 と。それぐらいに小国が連  
 合して大国に対する反対の  
 運動をしてきているが、「大  
 国で世界を決められない」  
 時代の幕開けかと思う。

**終わりに**  
**「9条で日本が守れる  
 のか」という攻撃に對  
 して**

私も沖縄の運動に参加し  
 てきたが、施政権返還50年  
 という期に県民調査などが  
 行われている。残念ながら、  
 沖縄県民の中では安全保障  
 問題は非常に敏感な問題

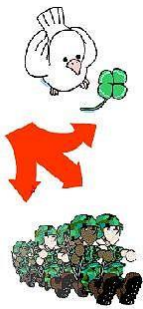
だ。私も選挙などに参加し  
 ていて、びっくりしたのは  
 は、2010年の知事選挙  
 の時に、北朝鮮が韓国を攻  
 めたことがあった。次の日  
 には街はシーンとしてし  
 まって、何をやっても反応  
 はなかった。それぐらい敏  
 感だった。

米軍基地があるので、例  
 えば、戦争が起これば、今  
 までもベトナム戦争みたい  
 に深緑のペンキを塗って  
 いた人が、今度はサウジア  
 ラビアとか中東になつて  
 くと、白や黄色のペンキ  
 に変えるとか、そういうの  
 を見て育ってきているか  
 ら、沖縄の人達は戦争に対  
 して私らに比べて非常に  
 敏感。そういうことが投票  
 日の3日前に起こった。そ  
 れで結局、知事選に負け  
 た。県民の中には自分の身  
 を守るためにも安全保障  
 は必要という考えが大き  
 い。

もう少し長いスタンス  
 で物事を考えていけば、明  
 治維新が起こって、そのあ  
 と西洋のいろいろな文化  
 を取り入れてきたが、同時  
 にこれからの国は軍隊を  
 持つて戦争して国を攻め  
 てもいいんだという軍国  
 主義と文明開化の2つを  
 作ってきた。日清日露、第  
 一次世界大戦、第二次世界

大戦。そのもとで、広島・  
 長崎の被爆にあい、結局敗  
 戦になってという事態を見  
 て、改めて憲法9条ができ  
 た。しかし憲法9条はでき  
 たが、軍国主義に反対する  
 と同時に、軍国主義に対処  
 するものとして、民主主義  
 とか、あるいは基本的的人権  
 を尊重するということが、あ  
 ると思う。9条と同時にそ  
 ういう権利を持つてきて自  
 主的な運動をどんどんする  
 ようになってきた。そうい  
 うものが、逆に言えばこれ  
 から、統制されたり管理さ  
 れたりという時代を迎えよ  
 うとしている。従って、9  
 条をどう守っていくのか、  
 これは非常に大事だと思  
 う。朝日新聞で山室信一さ  
 んが描かれていたが、満州  
 事変を起こした將軍が、広  
 島を訪問した時、初めて9  
 条をつくるべきだというこ  
 とを言われた。自分で体験  
 したからこそ、そう思った  
 ということだと思う。

ロシアのウクライナ侵攻  
 をどう見るのかという点で  
 お話させていただいた。



**核兵器禁止条約第1回締約国会議**  
**「核なき世界」行動要請、ウィーン宣言採択**

核を非人道兵器として史  
 上初めて違法化した核兵器  
 禁止条約の第1回締約国会  
 議が、オーストリアの首都  
 ウィーンで、6月21日から  
 23日まで開催されました。

高まる核の危機に警鐘を鳴  
 らし、「核なき世界」の実現  
 が急務と呼びかける「ウィ  
 ーン宣言」と「行動計画」  
 を採択して閉幕しました。

宣言は「核兵器使用の脅  
 しに危機感を強めている」  
 と指摘、「核兵器の使用や核  
 による脅しは国際法違反  
 だ」と強調。核が二度と使  
 われないことを保証する唯  
 一の手段は廃絶だと訴えま  
 した。

核の非人道性を長年訴え

てきた被爆者にも言及し  
 「貢献を称賛する」とたた  
 え、今後も協力していくと  
 しました。

ウクライナ危機で緊張が  
 高まる中、米国の「核の傘」  
 にいる北大西洋条約機構  
 (NATO)の一部加盟国  
 (フルウェー、オランダ、ド  
 イツなど)が、条約には参加  
 していないもののオプザ  
 ーとして会議で見解や立  
 場を述べ、議論に耳を傾け  
 たのに対し、唯一の被爆国  
 日本の不参加について、会  
 議の議長を務めたオースト  
 リア外務省のクメント軍縮  
 局長は「遺憾だ」と語りま  
 した。

(共同通信記事をもとに編集)

**ウィーン宣言のポイント**

- 核兵器の脅威の重大性が最近の事件で浮き彫りになった
- 核が二度と使われないことを保証する唯一の手段は「核なき世界」。即時行動が必要
- 9カ国が依然計1万3000発の核弾頭を保有していることを強く懸念。いかなる状況でも核の使用や核による威嚇をしないことを要求
- 保有国も、「核の傘」の下にいる同盟国も核への依存を減らす真剣な取り組みをしていない
- 核軍縮を前進させるための被爆者の献身を称賛。今後も協力 (京都新聞 2022.6.24 から)



## 世界の出来事メモ

### 6/15 ウクライナ戦争でのロシアの軍備 …たどってみれば欧州と米国が「金づる」

ウクライナ戦争開始以降、米国や欧州などがロシアの石油や石炭などの輸出に対して制裁を科しているが、国際原油価格の高騰により意図した効果が上がっていないことが調査で分かった。

フィンランドのシンクタンク「エネルギー・クリーンエア研究センター (CREA)」は6月13日 (現地時間)、『プーチンの戦争資金調達: 侵略の最初の100日間のロシアの化石燃料の輸入』と題する報告書を発表した。この中でCREAは、ロシアが2月24日から6月3日までの開戦からの100日間で石油、天然ガス、石炭などの化石燃料の輸出によって930億ユーロ (125兆ウォン) を稼いだと明らかにした。

比率は原油と石油製品が63%、天然ガスが32%、石炭が5%。

ロシア産の化石燃料の主な輸出先は依然として欧州連合 (EU) 加盟国で、全体の61%を占めた。…

化石燃料の輸出で得た「莫大な収益」は、ウクライナを侵略したロシアが戦争を遂行するための重要な資金源となっている。国際エネルギー機関 (IEA) によると、ロシアが石油と天然ガスの輸出で稼いだ収益は、2021年のロシア政府の財政の45%を占めた。開戦後にロシアが化石燃料の輸出で得る収益は、ウクライナ戦争で使った資金を十分に賄って余りあると評価される。…

米国は開戦初期にロシア産化石燃料の輸入を禁止した。だが、オランダやインドなどで精油処理されたものが、いわゆる「原産地洗浄」の効果を得て、何の制裁も受けずに米国に輸出されている。

(2022-06-15、ハンギョレ新聞から抜粋)

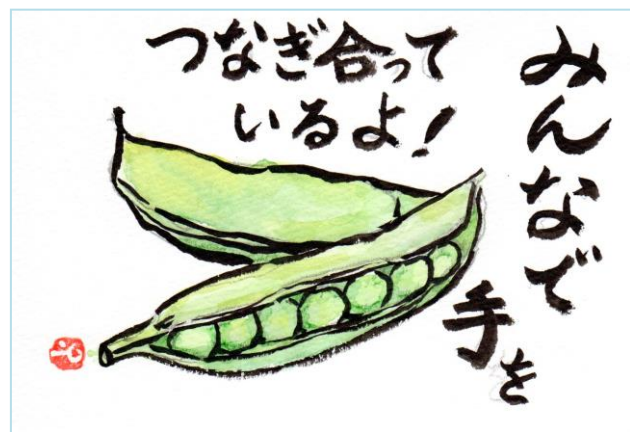
### AALAカフェ第28回

- テーマ: 「日韓関係のモヤモヤ」  
—日本軍「慰安婦」問題からK-ポップまで—
- お話: 西野敏美さん  
(大阪AALA会員)
- ◇ とき: 7月16日(土)  
13:30-15:30 (予定)
- ◇ ところ: 大阪AALA事務所  
(JR・地下鉄「玉造駅」下車すぐ)

◇参加費: 500円  
(コーヒー、菓子、資料代)

\*マスク着用を  
お願いします

\*参加は  
大阪AALAまで  
事前連絡を



絵手紙 津村よしえ

許さない改憲賛賛鬼縛の花  
糖尿病7秒スクワット風光る  
大阪市福島区 生駒 清

俳句  
プーチンの顔どんと縮みゆく  
戦争をさせぬ憲法持つ誇り  
大阪府四條畷市 西川 寛  
玉ネギがタ餉の主役物価高  
争いもひもじさ募る青い星  
シベリアの朝顔咲いた我が家にも  
大阪市旭区 近藤 正

川柳



大阪AALA  
へのお誘い

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円

\*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金をお願いします。

\*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)  
Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F

TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coccan.jp/

機関紙・宣伝委員会

